

ネットワークカメラ

品番 WV-SFN531



- 本書では、設置手順説明、ネットワークカメラの取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

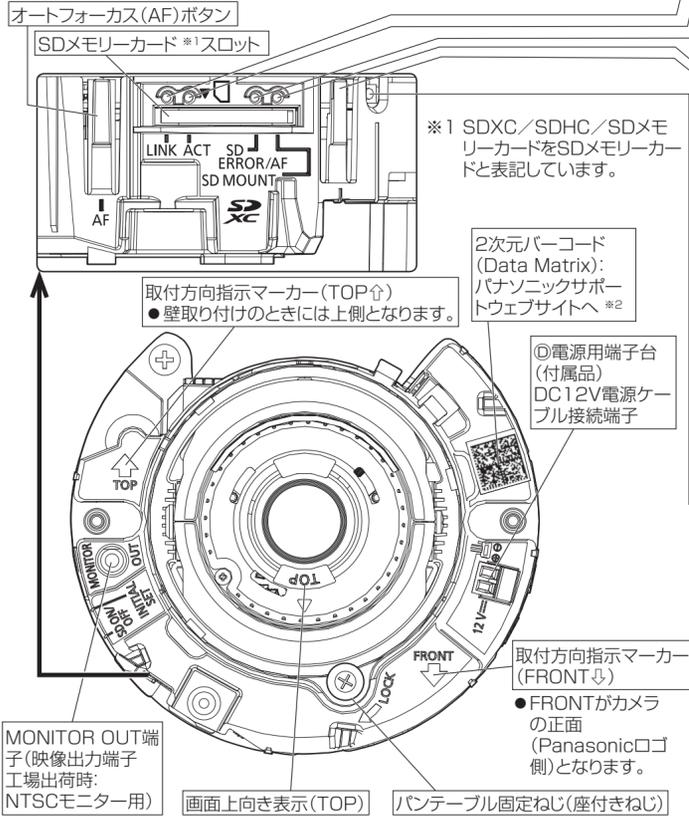
〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2017

PGQX1908YA fles0615-1047 Printed in China

各部の名前

本機の各部の名前は以下になっています。設置、調整時に参照してください。



※2 読取アプリケーションによってはうまく読み取れない場合もあります。そのときは下記URLを直接入力してください。
http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr_sp_select.html

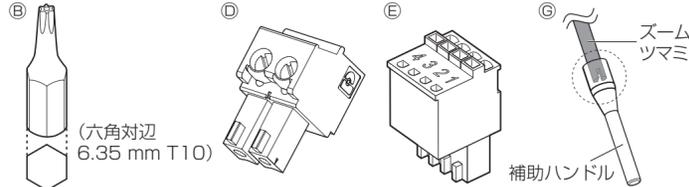
付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編.....1冊 取扱説明書 設置編 (本書).....1式
保証書.....1式 CD-ROM *1.....1枚
コードラベル *2.....1枚

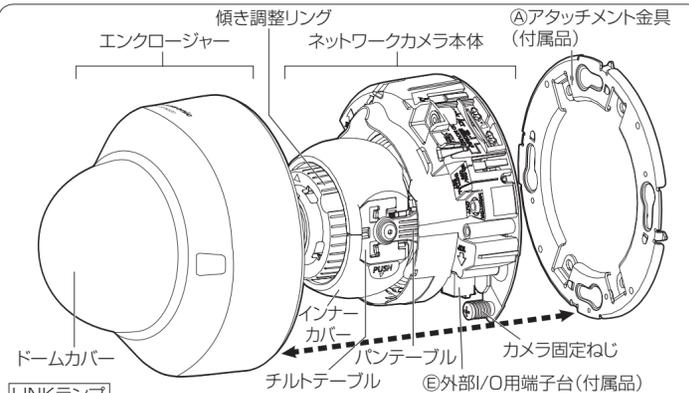
※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

- (A) アタッチメント金具.....1個 (D) 電源用端子台 *3.....1個
(E) 外部I/O用端子台 *3.....1個
(B) ビット (六角対辺6.35 mm T10).....1個 (F) MONITOR OUT変換プラグ.....1本
(C) 型紙A (アタッチメント金具用).....1枚 (G) 補助ハンドル.....1個



※3 外部I/O用端子台と電源用端子台はカメラ本体に装着されています。



LINKランプ	●接続機器と通信可能になったとき	橙点灯
ACTランプ	●ネットワークカメラがデータ送受信時	緑点滅 (アクセス中)
SD ERROR/AFランプ	●AF (オートフォーカス) 実行中	赤点滅 (1回/1秒)
	●セットが起動中	赤点灯
	●正常にSDメモリーカードが認識された場合	赤点灯→消灯
	●起動後SDメモリーカードスロット未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出された場合	赤点灯→赤点灯のまま
SD MOUNTランプ	●SDメモリーカードを挿入して認識できた場合	消灯→緑点滅→消灯
	●SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し (1秒以下)、保存可能な状態になったとき	消灯→緑点灯
	●SDメモリーカードに保存できる状態のとき	緑点灯
	●SD ON/OFFボタンを長押し (約2秒間) してSDメモリーカードを取り出す場合	緑点灯→緑点滅→消灯 (録画中)
	●SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき	消灯→消灯 (録画待機中)

メモ

- LEDの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯にすることができます (初期状態は点灯および点滅)。設置環境など必要に応じて消灯してください。 (※取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM内))

SD ON/OFFボタン

①SD ON/OFFボタンを押す (1秒以下) と、SD MOUNTランプが緑点灯し、SDメモリーカード *1へのデータ保存が可能になります。

②SD ON/OFFボタンを長押し (約2秒間) すると、SD MOUNTランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

INITIAL SETボタン (初期化/NTSC⇔PAL切替ボタン)

●初期化するには
本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。

①本機の電源を切ります。PoEハブを使ってご使用の場合はEthernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルのコネクター接続を外してください。

②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、SD MOUNTランプが緑色に点灯するまで、そのままINITIAL SETボタンを10秒以上押し続けてください。INITIAL SETボタンを離してから約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵 (SSL暗号化キー) は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

●MONITOR OUT端子の出力信号を切り替えるには (NTSC⇔PAL出力) INITIAL SETボタン (初期化ボタン) を短く押す (1秒以下) と、MONITOR OUT端子の出力を、NTSCモニター用/PALモニター用に切り換えることができます。

接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム (機器) の電源は切ってください。

電源ケーブルを接続する

①電源用端子台 (付属品) にACアダプター (WV-PS16 (別売り) あるいは市販品) の出力ケーブル接続します。

①電源用端子台のねじを緩め、ケーブルの外皮を3 mm~7 mmむき、より線を出させるよう加工して芯線をよくよじって、電源用端子台へ挿入してください。(WV-PS16 (別売り) をお使いのときは、ケーブル先半田付け部分を除去してください。)

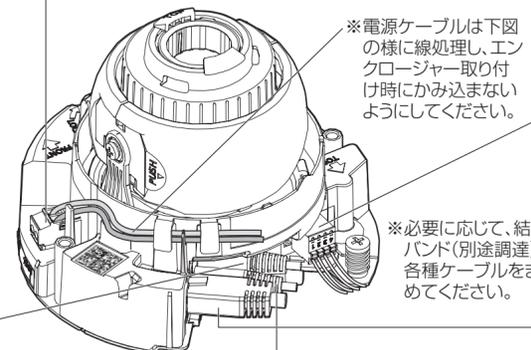
②電源用端子台のねじを締めます。(推奨締付トルク: 0.34 N・m {3.5 kgf・cm})

メモ

- 外皮を切断した芯線が①電源用端子台 (付属品) から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。
- 外部電源を接続する場合はAWG16~AWG24単線もしくはより線をご使用ください。

重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- ①電源用端子台 (付属品) は、必ず付属品を使用してください。
- ②電源用端子台 (付属品) は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格 (本体底面銘板に表記) を満たすACアダプターを使用してください。



オーディオ出力端子とアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。

- 入力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡
- 推奨ケーブル長 : 10 m未満
- 出力レベル : -20 dBV

重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をONにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出る場合があります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

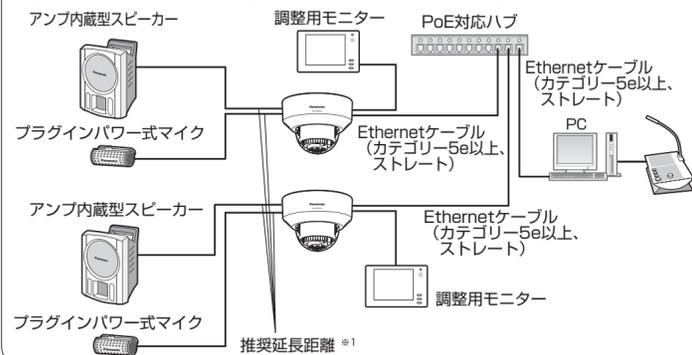
マイク/ライン入力端子とマイクを接続する

φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。

- 入力インピーダンス : 約2 kΩ 不平衡
- 推奨ケーブル長 : 1 m未満 (マイク入力の場合) 10 m未満 (ライン入力の場合)
- 推奨マイク : プラグインパワー方式 (別売り)
 - 供給電圧 : 2.5 V±0.5 V
 - マイク入力感度 : -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)
- ライン入力時入力レベル : 約-10 dBV

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



アラーム入出力ケーブルを接続する

①外部I/O用端子台 (付属品) に外部機器ケーブルを接続します。
①ケーブルの外皮を8 mm~9 mmむき、ショートなどがないように、芯線をよくよじってください。線材仕様 : AWG20~AWG26 単線もしくはより線。
②ボールペンの先などで接続したい外部I/O用端子台のボタンを押し、ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離します。

メモ

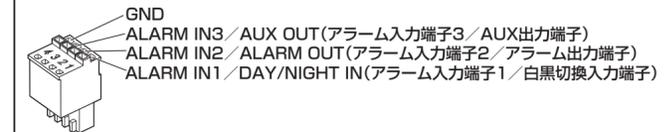
- 外皮を切断した芯線が外部I/O用端子台から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。

定格

- ALARM IN1 (DAY/NIGHT IN), ALARM IN2, ALARM IN3
入力仕様 : 無電圧マイク接点入力 (DC4 V~5 Vプルアップ内蔵)
OFF : オープンまたはDC4 V~5 V
ON : GNDとのマイク接点 (必要ドライブ電流 1 mA以上)
- ALARM OUT, AUX OUT
出力仕様 : オープンコレクタ出力 (外部からの最大印加電圧DC20 V)
OPEN : 内部プルアップによるDC4 V~5 V
CLOSE : 出力電圧DC1 V以下 (最大ドライブ電流50 mA)

※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。

①外部I/O用端子台



重要

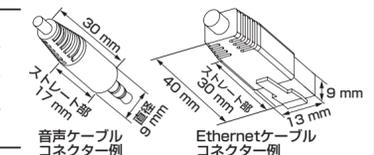
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させてから、接続してください。
- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

メモ

- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off/入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3 (アラーム2、3) の設定 (OFF/アラーム入力/アラーム出力またはAUX出力 (外部出力)) については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

メモ

- コネクター取納部が狭いため、音声ケーブルおよびEthernetケーブルは右図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。



ネットワーク端子とEthernetケーブルを接続する

※ Ethernetケーブルはカテゴリ-5e以上、8ピン、ストレートタイプをご使用ください。

重要

- Ethernetケーブルは4対 (8ピンすべて) を使用してください。
<推奨> パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533シリーズ (2015年5月現在)
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、DC12 Vが優先されます。
※ DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※ DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 Vを切断した場合、給電が一度切断され、本機が再起動します。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。

<必要なケーブル>

Ethernetケーブル (カテゴリ-5e、ストレート)
PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル (カテゴリ-5e、クロス) をご使用ください。

※1 スピーカー側 : 推奨ケーブル長 10 m未満
マイク側 : 推奨ケーブル長 1 m未満

重要

- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。
録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字 (カメラID など) が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

